

12月7日(火)開催（東葛城校区）

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
1	<p>私は、この小学校の卒業生ですが、少人数でこそ得られたものが多々あると考えています。学級が少ないことで、将来たくましく生きることの弊害があるかのような説明でしたが、私は、これが良かったと思います。社会へ出ると、個性がとても重要視されますが、人数の多い学校等では、まわりに合わせる協調性を教えられます。この学校では、人数が少ないからこそ、それぞれの個性が輝いていたと思います。</p> <p>また、この学校は、地域との交流が盛んですが、近くに小学校がなくなってしまうと近くにすむ住民の活気がなくなってしまうのではないかと思います。私たち卒業生も母校がなくなるととても悲しく、さみしく思います。もう少し考えていただけると幸いです。</p>	<p>これまで、東葛城小学校が地域の方々に支えられ、子どもたちの成長を見守っていただいたことについては感謝申し上げます。また、母校の閉校案をお示ししていることについて、卒業生の方が心配されるお気持ちはよくわかります。</p> <p>今回の小・中学校の適正規模・適正配置は、市全体の児童生徒の数が今後も減少すると見込まれる中、次の時代を担うこれからの子どもたちが、将来にわたってより良い教育環境の下で、充実した学校教育を受けることができるよう、取組を進めているもので、そのためには、今ある学校の数を今後もそのまま残すのではなく、一定の集団規模を確保し、バランスの取れた学校配置にしていくことが大切であると考えています。</p> <p>子どもたちは、豊かな個性を育むとともに、社会の一員として他者と協調しながら、より良い生活を送っていくことが必要であり、市内の子どもたちが等しく、そのような力を身につけられるよう、教育の充実に取り組んでまいります。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの数が増えたら教師1人にかかる負担が今よりも大きくなると思います。 ・中学生と小学生が交流はできて中学生からしたら小1などを相手にするのはちょっとしんどいと思います。 ・小・中一貫校をつくる計画をたてる前に小学校をつぶしていいかの会議をしてほしい。勝手に学校をつぶすほうこうですすめないでほしい。 ・人数がすくなかったら普通の友達よりも固い絆でむすびつくことができるので人数を多くしたらこのような関係をつくりにくいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の配置については、国や府の基準に基づき、各学校における学級数に応じて大阪府から配置されるため、学級数が増えると、その分配置される教職員の数も増える仕組みとなっています。それによって、いわゆるスケールメリットが働き、学校行事の計画・調整や学校全体の事務処理がより多くの教員で分担できたり、他の教員と授業の計画を立て、共有できたりすることで、教員一人当たりの負担が軽減します。 ・先進事例では、小中一貫教育の導入によって、中学生が小学生の手本になろうとする意識が高まったとの成果が報告されています。 ・今回は、教育委員会が策定した、実施計画（案）の内容を市民の皆様にお伝えすべく、各校區において計20回の説明会を開催しました。今後も引き続き、地域・保護者の皆様を話し合いを重ね、より良い計画の策定に向けて努めていきます。 ・小規模校では、ご意見にあるメリットもある一方で、多くの様々な意見に触れる機会や、集団による学習活動が限られるといった課題があると考えます。
3	<p>小規模の学校だから、地域の人と触れ合うこともできるし、小中一貫にしてのメリットにあまり魅力も感じられない。もっと小規模の良さを尊重してほしい。</p>	<p>小規模校だからこそできる取組、小規模校ならではの取組があることは承知しています。しかしながら、教育委員会としては、義務教育9年間の学校生活の中で子どもたちが身に付けた力が、将来社会に出た時も、たくましく、生きる力につながるものが何よりも大切であると考えており、そのためには小・中学校の段階から、集団規模が確保された教育環境の下で、多くの友達をつくり、時には自分と違う多様な考え方に触れることが大切であると考えます。岸和田市の子どもたちに、将来にわたってより良い教育環境、教育内容を保障していく上で、小規模校のメリットよりも、このような適正規模・適正配置の必要性の方が大きいと判断し、今回の計画案をお示したものです。</p> <p>小中一貫校を含む小中一貫教育については、文部科学省において実施の際の手引が示され、既に多くの自治体で導入されており、効果検証も行われています。文部科学省の調査では、H26年とH29年の調査ともに、導入済みの自治体のうち、95%を超える割合で大きな成果が認められる、または成果が認められるとの回答があり、教育的効果が期待できると考えています。今後も、先進自治体の好事例を多く視察・研究するとともに、「岸和田市小中一貫教育推進会議」において必要な対応について引き続き検討します。</p>

12月7日(火)開催（東葛城校区）

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
4	<p>人数が増えて、学校行事の規模が大きくなったとしても、参加しない生徒もたくさんでてきて、内容としては変わらないと思います。</p> <p>スクールバスが出なかった場合の通学の方法は、グラウンドを使う授業はちゃんとできるのか。</p> <p>休み時間のグラウンドの使用</p>	<p>教育の一環として行う学校行事は、全員参加が原則です。</p> <p>スクールバス対象外の地域の通学手段は、徒歩及び自転車による通学になるものと考えています。スクールバスの導入範囲については、地域・保護者の皆様のご意見も踏まえつつ、他地域との均衡にも配慮しながら、決定していきます。なお、徒歩による通学の場合も、検証を十分に行い、道路関係部局や警察等とも連携して、必要な安全対策を行います。グラウンド使用については、先進事例を参考に、児童生徒の安全面に十分配慮し、使用スペースや使用時間を区別する等によって対応します。</p>
5	<p>人数が少ない方が、生徒の面倒を一人一人見れる。</p>	<p>児童生徒一人ひとりに目が行き届き、きめ細やかな学習指導が行いやすいといったメリットについては、学校全体の児童数の多い少ない（学校規模）ではなく、実際に日々の授業が行われる1クラス当たりの児童数の多い少ない（学級規模）の影響を大きく受けるものと考えます。教育委員会としても「学級規模」の少人数化は、よりきめ細やかな教育指導が期待され、高い学習効果が期待されることから、望ましいものと考えており、国や府に対して、その推進を働きかけているところです。</p> <p>一方、今回の適正規模・適正配置については、学年全体及び学校全体の集団規模（学校規模）の確保を目的としております。小規模校のメリットについても承知していますが、教育委員会としては、そのメリットよりも適正規模・適正配置の取組の必要性の方が大きいと考えています。</p>
6	<p>こんな少くなくても、解決できてないのに多したら、もっと解決できらんやろうし、そもそも、母校をこわされるのは、いや。米作とか出来るのはこの人数だから出来る事であって、増えたら出来ない事！</p> <p>昔から歴史をこわす事をやめてほしい。少ないからこそ、出来る事をつぶすのは、全対するな</p> <p>東葛かその他の小、中をこわすような事したら自分の母校をこわすのは絶対はんたい！</p>	<p>母校の開校案をお示ししていることについて、卒業生の方が反対されるお気持ちはよくわかります。</p> <p>またこれまで、歴史ある東葛城小学校が、地域の皆様に支えられ、育てていただいたことに感謝申し上げます。</p> <p>今回の小中学校の適正規模・適正配置は、市全体の児童生徒の数が今後も減少すると見込まれる中、次の時代を担うこれからの子どもたちが、将来にわたってより良い教育環境の下で、充実した学校教育を受けることができるよう、取組を進めているもので、そのためには、今ある学校の数を今後もそのまま残すのではなく、一定の集団規模を確保した上で、バランスの取れた学校配置にしていくことが大切であると考えています。</p> <p>東葛城小学校の歴史や伝統については十分理解しますが、教育委員会としては、これからの未来を生きる子どもたちのより良い教育環境を最優先に考え、適正規模・適正配置の取組を進める必要があると考えています。</p>
7	<p>東葛城小学校の卒業生です。</p> <p>多くの楽しい思い出がありました。</p> <p>バースデー給食や田植え体験などの東葛城小学校だからできるものは、小中一貫校になったとしてもこのしてほしいと思いました。</p> <p>小学校生活6年間で大きなケンカやいじめなどがなく、とても過ごしやすかったです。</p>	<p>東葛城小学校の教育活動はじめ、これまで、各学校が児童生徒の豊かな心を育むために実践してきた特色ある教育活動については、再編後の学校においても、引き続き積極的に取り入れていきます。</p>
8	<p>すべての市民につたえて下さい。</p>	<p>計画案の内容や、地域・保護者の皆様からいただいたご意見等、議論の進捗状況及び教育委員会としての考え方は、市のホームページ等を通して随時公表し、広く市民の皆様にも周知してまいります。</p>

12月7日(火)開催（東葛城校区）

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
9	各種問題点の最終対応案が決まった時の賛否であるが、回答としては、予算化が必要であり「議会で審議・賛否を図る」とのことであったが、私の要望は、地域住民による賛否をはかっていただきたい。	実施計画（案）の成案化に向けて、今後も地域・保護者の皆様と十分な話し合いを行います。その上で、市と教育委員会が最適と考える実施計画としてとりまとめ、関連する議案を市議会においてご審議いただき決定していきます。